

久保洋子ネット通信

ごあいさつ



7月となり、本格的な暑さに向かう季節になりました。皆様におかれましてはお元氣にお過ごしのことと存じます。

コロナワクチン接種が推進され、本市においても月下旬から集団接種が始まりました。当初ワクチン接種予約の混乱もあり、各自自治体の対応の力量が見せつけられたと思えます。高齢者の方々ワクチン予約はいかがでしたか。おひとりおひとりの予約にいたるまでのエピソードがあとと存じます。

今は、コロナ終焉に近づいたと周りの方々からお声を伺っています。多くの国民のコロナ接種が進み、国々の集団免疫を高めていくことが期待されるのです。

6月定例会議員会閉会日に議員各位の推薦を頂き、歴史と伝統ある金沢市議会第9代議長に就任いたしました。金沢市は18009年4月市政施行され132年後になる金沢市議会初の女性議長となり大変光栄に思っています。同時に山本由起子副議長就任で正副議長がともに女性是全国的にも珍しい報道されました。

また、就任直後には金沢市議会初女性議長として注目度もあり、北國新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社の取材を受け紙面に掲載頂きました。私は女性ならではの情報や体験の豊かさや気づきなど大切に、多様性を意識しながら、女性視点に磨きをかけて議長の任務に取組みたいと考えています。その上で、就任の重みをしっかりと受け止め、ウエブ「コロナ社会」に対応する議会活動の活性化や円滑な議会運営に全力を尽くし取り組む所存です。

就任後、議長室は胡蝶蘭に囲まれ喜びや幸せを取り込み、就任後4月、5月には友人、仲間をはじめ毎日多くの方が議長室にお越しいただき直接激励、お祝いのお声掛けを賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

あらためまして、6月定例会議員会の後、コロナ感染対策で4月17日に第1回臨時議会、5月31日に第2回臨時議会を開催して、ワクチン接種対策や経済対策の補正案を審議、緊張しながら議長席に座りました。

7月6日定例会議員会では6月7日から17日の日程で開催、提出の補正予算額35億3000万円余。国庫補助金格額に伴う公共事業費や地域の活性化に資する経費の追加が主たるもので、なおコロナ禍の引き続き感染予防対策と経済活動への支援対策の取組で市民生活の安全安心を確保することに重点が置かれる。提出議案はすべて採決されました。

つながりサポートプロジェクト金沢

金沢市女性安心生活支え合い支援事業

これからの女性のライフステージにおいて、「健康な身体づくり」を今からしておくことが大事です！

コロナ禍で困難を抱えた女性のサポート

体と心の不調を守る居場所です。

生理の悩み 生理の貧困支援

生理用品を無償提供します

イベント 相談時にお返し致します。

つながりSP金沢

毎月 第2日曜日 13時～15時

つながりサポートプロジェクト金沢 (公財)SP事務局
〒920-1157
石川県金沢市田上区6-14-27 12号ビル5階505号室
提供時間 毎月第2日曜日 13時～15時
その他イベント、アウトリーチ支援(訪問型)

LINE公式アカウント

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

5月14日 県議会にて
出席者 金沢市議会議員 久保洋子 副議長 山本由起子
輪島市議会議員 西 恵
能登町議会議員 酒元法子
羽咋市議会副議長 北川真智子



(山本・西・安居・久保・酒元・北川)

医療と福祉と地域をつなぐ

久保洋子 議員事務所
〒920-0014 金沢市諸江町36-17
TEL.076-264-3536
FAX.076-264-3536
URL.https://kubo-yoko.com/

石川県内の女性正副議長 6人意見交換会開催

安居知世 石川県議会副議長の呼びかけで

石川県内自治体議会の女性正副議長6人が揃い初めでの意見交換会を開催する。

議会会議規則における欠席の届出に関する規定を改正する動きが全国で進められている。本県内の状況報告とともに特に産前産後休暇については産前産後8週に引き上げを求めていくことを発言した。

特にコロナ禍での女性の貧困については自治体の意識に温度差があり、金沢市の超党派女性議員会議員からの困難を抱える必要とする女性に生理用品を無償配布する要望書を市長に提出したことを報告した。

安居副議長の呼びかけでこのような意見交換の開催は、情報共有し各議会での取組みを活発に進められる第1歩として貴重な機会であり参加者、同会今後の開催も確認する。

金沢市 女性安心生活支え合い 支援事業

金沢市では、コロナ禍においてさまざまな困難を抱えた女性について居場所の提供及び生理用品等の提供などの取組の実施により、女性が社会との絆、つながりを回復することを目的に 市内民間団体から企画を募集し事業委託します。

6月23日応募団体のプレゼンテーションにて、「つながりサポートプロジェクト金沢」が採択団体の一つに選ばれました。このプロジェクトは私が専門スキルある信頼できる方々にお声かけし、提案企画を議論し趣旨に賛同頂き活動運営できるプロジェクトとして設立しました。私は、相談役として、役員を支えています。

医療や福祉を学ぶコロナ禍で生活の不安を抱える学生を主につながりサポートを進めていきます。特に生理の貧困がワーズアップされ、必要とする女性に無償提供をします。また、女性には女性特有の疾患があり、若いうちから生涯にわたる健康の重要性の知識と理解を広めていく活動も同時に進めていきます。

数字で見る金沢市民の生活 DATA of KANAZAWA

出生 (令和2年) 1日あたり 9.40人	死亡 (令和2年) 1日あたり 12.31人	結婚 (令和2年) 1日あたり 6.65組	人口密度 (令和2年4月1日) 1㎡あたり 987.3人	世帯人口 (令和2年4月1日) 1世帯あたり 2.23人	公園 (令和2年4月1日) 市民1人あたり 12.87㎡
離婚 (令和2年) 1日あたり 1.74組	転入 (令和2年) 1日あたり 45.52人	転出 (令和2年) 1日あたり 45.90人	観光客数 (令和2年) 1日あたり 29,233人	図書館蔵書貸出数 (令和2年) 市民1人あたり 年間 5.5冊	医療施設 (令和2年3月31日) 病床、診療科(診療科目) 市民 675.6人 に1床
火災 (令和2年) 1日あたり 0.22件	救急車出動 (令和2年) 1日あたり 45.62回	ごみ収集量 (令和2年) 1日あたり 230.4t	市職員数 (令和2年4月1日) 市民 142.85人 に1人	市税 (令和2年4月1日) 市民1人あたり 180,997円	一般会計歳出決算額 (令和2年) 市民1人あたり 385,609円

4月～6月までの市議会議員活動のご紹介

◆5月20日 全国 伝統工芸品 振興市議会協議会 オンライン定期総会

金沢市議会議員が本協議会会長であり総会議長を務める。昨年度は書面決議総会でありました。本年度はZoomで開催。参加33市議員には自己紹介を兼ね、ご当地自慢の伝統工芸紹介を実施し、好評であった。今後情報共有し伝統工芸品振興に関する要望等とりまとめ政府・国に要望活動を行います。現在43市の加盟があり会員数増加も図りたい。



◆6月7日 6月定例会議会開催 本会議議長(6月7日から6月21日)

なお、4月21日、5月31日に臨時議会を開催し、女性の安心生活支えあい支援事業をはじめ、コロナ感染対策に関する追加補正予算を審議。



◆6月14日 シトラスリボン活動 全議員の協力を得てシトラスリボン購入寄付

シトラスリボン活動は愛媛県から発足、コロナ禍で医療従事者の差別偏見の風潮を目の当たりに暮らしの中で「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちにという思いを共有する呼びかけが全国に広がっています。

石川県では障害者就労支援施設やお工房の方々の手作りの水引リボンを皆様に購入いただき障害者の工賃材料費と医療従事者への寄付に充てられます。

3つの輪は地域・家庭・職場(学校)を表現。シトラス色は愛媛特産の柑橘の色。金沢市議会議員38名の善意の気持ち38,000円をお渡しする。議員各位はバッジにリボンをとめて、議場にてアピール。



◆6月23日 全国議長会永年勤続議員表彰伝達式

30年勤続、玉野・中西・高村・澤飯議員。

10年表彰、前・麦田・喜多・高議員。

皆様には今後も市政発展のため、市議会活性化のため、ご尽力いただきますようお願い申しあげ、お祝いの言葉としました。



◆6月24日 北陸建設業協会森眞一郎理事長から市内保育園に玩具寄贈・感謝状贈呈式

同協会は2024年の設立50周年に向け昨年度から5年計画で寄付を始めています。2年目の今年度は木製のままごと用キッチン、流し台、電子レンジなど保育用品と手指消毒剤を双葉保育所はじめ3か所に寄付されました。



◆4月2日 金沢港クルーズターミナル初寄港歓迎式(飛鳥川 寄港)



◆4月17日 四十万公民館竣工式

◆5月11日 「必要とする人に生理用品を無償提供することを求める要望書」提出

本市女性議員7名連名で市長及び教育長に要望する。

◆5月31日 臨時第2回議会にてコロナ禍で不安を抱える女性支援

130万円市単独補正採択

市女性センターや福祉健康センター、市立工業高校など生理用品を無償提供する。



◆5月18日 市議会勉強会「女性活躍を支える女性の健康政策」開催

講演講師 種部恭子富山県議会議員・産婦人科医
富山県内の子宮頸がんを防ぐHPVワクチンの取り組み、副反応とワクチンの接種のメリットについて、また女性の生涯にわたる健康のために性教育の充実など男性議員の学びにもつながった。本市は対象者に封書で子宮頸がんワクチンの接種案内をしました。



◆5月13日 市企業による 生理用品の 市内小中学校への寄付 贈呈式

平本組、スライス2社から段ボール40箱分の寄贈を受ける。コロナ禍で生理用品の購入できない生活の節約を強いられる女性のために善意の寄付を頂きました。この企業支援第一号があり、その後支援の輪が広がりつつあることに感謝しています。

